

米国経済点描 (2008. 8. 04)

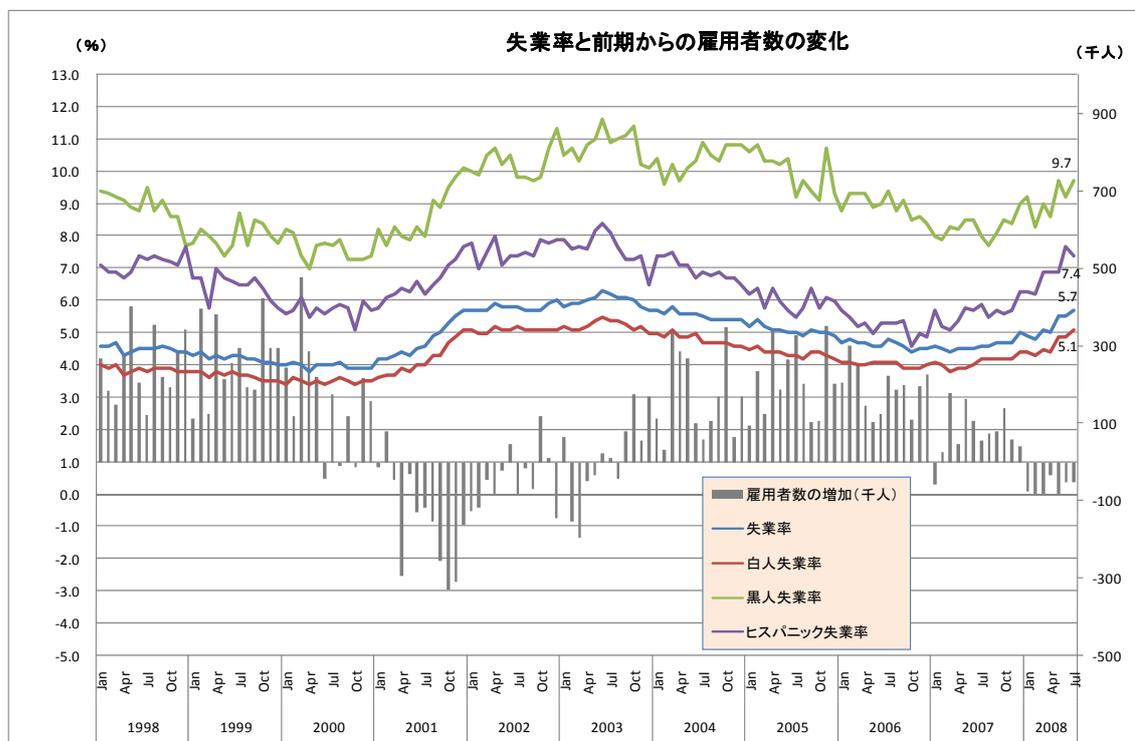
～2008年7月の失業率～

8月1日に米国労働省労働統計局(BLS)が公表した世帯調査に基づく2008年7月の失業率(季節調整済み)は、前月と同じ5.7%と、0.2%悪化した。また、同調査に基づく5月の就業者数の暫定値は、1億4,581万9千人で、前月より7万2千人減少し、3ヶ月連続の減少となった。この1年間で失業率は1ポイント上昇している。また、10代若者の失業率は2割を超え、経済的理由からパートタイマーで働く人も30.8万人と急増している。

一方、事業所調査に基づく非農業部門の雇用者数(industry payroll employment)も、季節調整済みの暫定値で5万1千人減少した。これで雇用者数の減少は本年1月から7ヶ月連続となった。

ヘルスケアサービスと鉱業では前月に引き続き雇用増となったが、建設、製造業、卸売業、情報サービス業、人材紹介業で雇用が減少している。

以上のように雇用情勢は悪化しているが、今後は個人消費の低迷から失業率の上昇は当分の間続き、IT不況時の失業率のピークであった6.3%に迫る局面もこともありえる。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail [contact\("atmark"\)axis-research.co.jp](mailto:contact@axis-research.co.jp)